

令和 7 年 2 月 25 日

ベトナム・バクリエウ出張 報告書

氏名：川上航典

所属：九州大学理学府地球惑星科学専攻宇宙電磁気学研究室

出張期間：2025 年 2 月 10 日-2 月 15 日

出張先：ベトナム・バクリエウ

上記日程でベトナム・バクリエウ観測所に、阿部修司博士(九州大学 i-SPES)、加藤彰紘さん(九州大学)、東根侑加さん(九州大学)と一緒に出張し、現地カウンターパートの Vietnam Academy of Science and Technology のスタッフである Thanh Nguyen Ha さんと、バクリエウ観測所所長の Dhan Thanh Hai さんの協力の下、作業を行った。今回の出張の目的は昨年バクリエウにて発生した洪水等により故障していた磁力計の回収と、新磁力計の設置であった。



図 1 観測参加者

左より：東根さん、川上、Thanh Nguyen Ha 研究員、阿部博士、加藤さん

作業開始日の 2 月 11 日には、午前中に故障していた fluxgate 磁力計の撤収を行い、洪水対策として地表から 1 m 以上高さを持たせた上で新しく建設した新センサーハットの下見し、午後には、下見を踏まえて、必要と判断した物品の購入を行なった。翌 12 日には、新センサーハット内に新 fluxgate 磁力計を仮設置し、取得したデータの検討を行った。その結果、同観測所に設置されている FMCW レーダーの影響の可能性がある周期的なノイズが見られた。そこで 13 日には複数箇所における磁力計の仮設



図 2 旧 flux 磁力計センサー(左)、アンプ(中央)、FMCW レーダー(右)

置、並びにデータの取得を行うことで、最もレーダーの影響を受けにくい場所の決定を行った。最終日であった 14 日には、最終的に決定した磁力計設置場所へのセンサーハットの建設が我々の出張期間内では竣工の目処が立たなかったため、当初の予定を変更して Thanh Nguyen Ha 研究員に新 fluxgate 磁力計の設置してもらう運びとなったため、磁力計の設置方法の共有を行った。



図 3 新センサーハット(左)、磁力計仮設置の様子(右)

バクリエウでの作業では、想定外のノイズや、強い日差しの中での作業を通して観測機器設置の困難さを痛感しつつも、多くの場面で助けていただいた現地カウンターパートナーの方の存在から国際的な友好関係を築くことの重要性にも改めて認識することができた。